

すこやか VOL.60

医療法人 藤田病院

岡山市東区西大寺上三丁目8-63

TEL (086) 943-6555 (代)

平成27年1月発行



表紙写真 京都 雪の嵐山 渡月橋

ご挨拶

藤田病院 院長 辻孝夫



新年あけましておめでとうございます。本年が皆様方にとって幸せな年になることを、心からお祈り申し上げます。当院は今年も皆様の健康のお役に立つように努めてまいります。

さて、昨年9月の総務省の発表によると、65歳以上の高齢者は、前年よりも111万人増加の3296万人で、総人口に占める割合は25.9%でした。高齢者の人口、割合ともに過去最高を更新しています。

また、同じく昨年9月の厚生労働省の調査によれば、全国で100歳を超える人は、過去最多の5万8820人となっています(女性5万1234人、男性7586人)。都道府県別では、トップ3は、東京の5028人、神奈川の3123人、大阪の3088人の順でした。約50年前の1963年には、100歳以上の人は全国で153人しかいませんでした。その後1000人を超えたのが1981年に、1万人を超えたのが1998年、そして現在6万人に迫っています。日本はまさに世界有数の長寿国と言えるでしょう。

長寿であるのはすばらしいことですが、一方で生活習慣病や認知症、寝たきりなどの高齢者が増加しているのは、深刻な問題です。寿命の長さだけでなく、寿命の質を向上させること、つまり健康で自立した日常生活を過ごせる「健康長寿」であるこそが、皆さんの願いでしょう。

健康長寿を実現するには、健康的な生活習慣を若い時から心がけ、がんや循環器疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患などの予防に努めることが大切です。自分の食生活や運動、休養、飲酒、喫煙、菌の健康などをもう一度よく見直してみましよう。気になることがあれば、遠慮なく当院の医師・医療スタッフにご相談ください。

内視鏡室を

充実

させました

昨年10月から内視鏡検査室が1部屋から3部屋に増えました。さらに、当院初の内視鏡技師の認定資格を持った看護師1名と検査補助者2名を採用し内視鏡室専任としました。



内科 岡咲 医師

- ① 3部屋に増えました
- ② 専門スタッフを配置
- ③ 待ち時間を短縮
- ④ 新しい機器を導入

今までは検査が終わってから次の患者様が検査室に入室するまでの準備に20分程度掛かっていました。スタッフを増員し、3部屋体制になりますと、ひとつの部屋で検査を行っている間に別の検査室の準備を行います。検査が終われば準備が整った別の検査室で検査をスタートします。準備と検査を交互に行うことで20分の「準備待ち」をなくして患者様の検査までの待ち時間の短縮を目指しております。

また、内視鏡ビデオスコープシステム1台（オリンパス社製 EVIS LUCERA ELITE CV-290）と上部内視鏡スコープ1本（オリンパス社製 GIF-H290）、下部内視鏡スコープ1本（オリンパス社

製 CFQ260A）を追加しました。これによりビデオスコープシステム2台、上部内視鏡スコープ2本、下部内視鏡スコープ2本、経鼻内視鏡1本になり機器も充実させました。設備、スタッフ、機器を整え、

ますます安心・安全な検査に努めてまいります。当院では岡咲医師（日本消化器内視鏡学会指導医・専門医Ⅱ顔写真）を中心に検査を行っております。気になる症状がございましたらお気軽にご相談ください。

内視鏡技師の原看護師(中)と検査補助者



内視鏡技師とは

日本消化器内視鏡学会の認定資格。内視鏡検査の治療と介助（検査の前処置やスコープの洗浄及び消毒、機器管理）を安全に行うための訓練を積んでいます。資格取得には専門医のもとで2年以上の指導を受けなければなりません。